

学校教育目標

夢を志にチャレンジ

～たくましく生きる力を身に付け、自らの進路をきり拓き、地域に貢献できる生徒を育てる～

ミッション《地域社会における本校の使命》

知・徳・体の調和がとれ、自らの学校に誇りを持てる生徒を育てるとともに、地域・保護者との繋がりを深め、地域に愛され、信頼される学校教育の創造を目指す

21世紀型“スキル&倫理観”

ビジョン 《自校の将来像》

めざす学校像

- 小学校との連携を深め、知・徳・体の調和がとれ、目標に向かって努力する生徒をサポートする学校
- 誰もが安心して過ごせる学校、誰もがやり直しができる学校
- 生徒が共に伸び、通って良かったと思える学校
- 保護者・地域から信頼され、通わせてよかったと思われる学校

めざす生徒像

Well-beingの実現

自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる

- 身の回りの事象について、多面的・総合的に考えて課題を見つけることができる。（課題発見力）
- 将来の進路希望に基づいて当面の計画を立て、その達成に向けて努力することができる。（論理的思考力）
- チームとしての立場の違いを理解し、お互いを活かしながら協働することができる。（コミュニケーション力）
- 苦境に立たされた時に自暴自棄にならず、現状を改善するために努力することができる。（粘り強さ）
- ※ タンポポ魂、SDGs、自分で決める、生活五訓（挨拶・時間・美化・服装・姿勢）・感謝の気持ちをもつを意識して生活し、これらの力を高めていく。

本年度重点目標

学ぶ楽しさを実感しながら、主体的に学びに向かい、力を育む授業づくり
～ 主体的な学びに向かう問い（本質的な問い）や学びを深める振り返りを通して ～

「課題発見力」「論理的思考力」「コミュニケーション力」「粘り強さ」の育成

- 自分で決める ⇒ 自己決定の意識化、意志決定スキルの向上
- 授業が楽しい・わかる・学んだことが使える ⇒ 「学び」の追求、授業改善、授業スタイル、家庭学習の定着
- 地域に貢献する ⇒ 生徒会・部活動、ソーラン隊、ボランティア活動、地域活動
- 当たり前のことができる ⇒ 生活五訓の習慣化、「培遠精神」と「タンポポ魂」
- 感謝の気持ちをもつ ⇒ 自己肯定感の向上、良好な人間関係

（知）

○基礎基本の定着

- ・生徒が「考える、選ぶ、決める、学ぶ」授業への転換
- ・学びの振り返りの実施
- ・生徒が自ら学習を調整した学び
- ・「かく」活動と表現することの重視
- ・予習、復習の推奨
- ・子ども主語と教材主語を意識した教材研究
- ・ICT機器の有効活用

（徳）

○新たな不登校生徒ゼロ

- ・ソーシャルサポートの充実
- ・自己効力感の向上
- ・生活五訓の自己評価（メタ認知）
- ・リーダーの育成と集団づくり
- ・情報の共有化と早期対応
- ・教育相談の有効活用

（体）

○心身の健全な発達

- ・自己認識の向上
- ・健全な自尊心の向上
- ・生徒指導の三機能の活用
- ・ライフスキルの向上
- ・基本的生活習慣の確立
- ・食育の推進
- ・学校保健委員会の充実

○いじめを許さない学校風土

- ・生徒会活動、行事での主体性の向上
- ・道徳教育の推進
- ・ふるさとキャリア教育の推進（ボランティア活動への参加）

○体力の向上

- ・運動に親しむ
- ・新体力テスト結果の向上
- ・体育的行事の取組の充実
- ・部活動の活性化

自分らしく、よりよい生き方（自己実現）

日常の問題（不安、ストレス、対人関係など）の解決

計画
・目標設定スキル
・意志決定スキル

実行
・コミュニケーションスキル
・ストレス対処スキル

セルフエスティーム

基盤

生徒指導の三機能の活用

- ⇔ 自己指導能力の育成
- ⇔ セルフエスティーム（健全な自尊心）の向上
- ⇔ レジリエンス（心の回復力）の育成

- ・自己決定の場を与えること
- ・自己存在感を与えること
- ・共感的人間関係を育成すること

保護者・地域との連携

- ・学校情報の定期的、積極的な発信
- ・小学校と一体的な地域行事の取組み
- ・スクールサポートボランティアの活用
- ・地域行事への積極的参加（貢献）
- ・PTA活動への積極的参加
- ・地域サポート委員会の活用

チーム培遠

信頼される教職員

- ・やりがいをもって、生徒に向きあっている教職員
- ・同僚性を大切にする教職員集団
- ・新たな目標に挑戦する熱意ある教職員
- ・常に研究心を持ち、確かな授業力を身に付けた教職員
- ・教育公務員としての使命を自覚した教職員集団